

くらしの目線で市政を変える

こんにちは 日本共産党 西野さち子です！

発行：2020年8月23日 連絡先：京都市伏見区新町10丁目381 日本共産党伏見地区委員会 Tel:075(611)9135 FAX:075(602)9117



新型コロナ対策 政治が責任果たせ!!

防疫の立場でPCR検査の拡充を 副市長と懇談



日本共産党市会議員団は、7月31日、志位委員長が安倍首相に対し行った「新型コロナ対策にかんする緊急申し入れ」を門川市長に届けました。西野さち子市会議員は、井坂博文市議団長、加藤あい幹事長とともに申し入れと懇談をしました。村上圭子副市長と安部康則担当局長が応対しました。

井坂団長は「緊急申し入れ」の内容を説明し、京都市の現状について認識を問うとともに検査対象の拡大を要望しました。

村上副市長は、「京都市は濃厚接触者の範囲について早くから幅広に規定し取り組んできた。児童福祉施設の特質を踏まえた検査や高齢者施設については重視し注意喚起してきた。検査の拡大については戦略的に行う必要がある」と述べました。

安部担当局長は「市立病院の全員検査には京都大学に協力いただいた。防疫的観点から必要な検査を行っており、京都市においては7割の感染経路が追えている。経路が追えなくなることも視野に入れる必要がある」との認識を示しました。

西野市議は「京都市におけるPCR検査数が全く公表されていないのは問題だ。個人名の公表は必要ないが、地域的な特徴がわからない。情報公開が必要。防疫の立場でPCR検査の更なる拡充が必要」と志位委員長の申し入れにも触れて、対応の当局に対し対応の更なる強化を強く求めました。

議員日誌

パートナーシップ宣誓制度についての申し入れ

京都市は9月から「パートナーシップ宣誓制度」を開始します。日本共産党市会議員団が、これまで何度も求めてきた制度が創設されます。西野市議は「LGBTの方は住居確保にも困っておられる方が多い。市営住宅の入居申し込み資格を認めるべき」と求めてきました。

7月30日に共産党議員団の代表で、市長に申し入れをし、文化市民局共生社会推進室の山村室長が受け取られました。申し入れの内容は「性の多様性を認め合う社会づくりの取組として大いに歓迎する。」「生活上の困難を取り除くために実効性のある制度となるよう大いに期待する。」その上で「当事者や支援者、市民からの意見を大いに聴取し、パートナーシップ宣誓制度の創設に

とどまらず、性的指向や性自認による差別を禁止し、性的多様性を認め合う社会づくりをすすめるための条例等の制定も視野に入れ取り組むこと」と言うものです。

西野さち子市議は「今回の制度創設は第一歩として、今後も改善を求めていきます。」と話しました。



「京都市行財政審議会」市民の生活を守る立場が必要

7月2日に「京都市持続可能な行財政審議会」が開催されました。そこで報告されたのは、「京都市の財政は厳しい」の一転張りで、「市税収入が少ない」「市民一人当たりの人物費が5大都市の平均より1割多い」「市の貯金がない」「借金返済のための基金を取り崩している」などと報告されています。審議は8名の外部有識者会議で議論をされています。

今後月に1回のペースで議論をするととの事ですが、審議委員からは「市民の生活から見てどうなのかの視点も重要」との声もあります。敬老乗車証も対象になっています。



困ったときは…
日本共産党の生活相談所へ

毎週月・水・金曜日
午前10時から午後5時

まずはお電話ください!!

☎621-6717